

【現場除雪事例：H13 宮城県 6】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示
工事種別	砂防工事
工事名称	平成13年度通常砂防3-001号 御番次床固工工事
施工場所	宮城県栗原郡花山村坂下地内
工期	平成13年10月18日～平成14年3月25日
使用機材/機械	雪かき板、角スコップ/バックホウ 0.45m ³ 、バックホウ 0.70m ³ 、ブルドーザ P20PL
現場除雪の工夫・留意点等	ブルドーザにて集積しバックホウにて排除する方法をとっています 人力による除雪については、特に足場上に於いて手前より除雪し進む、又上下作業とならない様に上部より下部へ除雪を行う。路肩にポール等で明示し横転等の無い様に手前より除雪を行っています。



現場内除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 6】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	砂防工事
工事名称	特地溪国第 1-2 号平丸地区特定緊急地すべり防止工事
施工場所	新潟県新井市大字平丸地内
工期	平成 13 年 3 月 28 日～平成 14 年 3 月 15 日
使用機材 / 機械	スコップ、スノーダンプ / バックホウ 0.35m ³
現場除雪の工夫・留意点等	床固工（大型フトン簀）及び足場は人力にて、下流側へ投雪し、バックホウで現場外へ処理。毎日、作業終了後、降雪に備え、青シートで養生埋戻し土（転用土）は、雪が混入しないよう、青シートで養生。作業通路（市道ではあるが、除雪区域外）除雪にあたり、ガードレール他構造物の個所、及び路肩に竹竿（1 = 5.0m 位）に、赤旗を取り付け、数ヶ所設置した。詰石に雪が付着し、良い施工が出来ないので、沢水を利用し洗い流している。



人力除雪後、バックホウにて処理

【現場除雪事例：H13 新潟県 22】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / F:その他
工事種別	砂防工事
工事名称	通常砂防第24-04号 尾鳥巣川通常砂防 流路工及び町道橋下部工事
施工場所	新潟県塩沢町石打地内
工期	平成13年7月13日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	角スコップ、スノーダンプ / バックホウ 0.6m ³ 級 20t 級、バックホウ (排土板付) 0.4m ³ 級 13t 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工ヶ所、構造物等の回りに、現場の状態がわかる様、赤白ポール等を設置し施工ヶ所を広げないで作業し完了後、次の区間作業にかかる。バックホウにて除雪し、構造物等の回りは角スコップ、スノーダンプを使用し影響外まで運び、あらかじめ決めてある場所までバックホウ(排土板付)にて雪を押し出す。</p>



人力除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 2】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / A4:早出や終了時の除雪 / C1:作業員の安全
工事種別	砂防工事
工事名称	中津川床固工群工事
施工場所	新潟県中魚沼郡津南町石坂地先
工期	平成 13 年 10 月 27 日～平成 14 年 3 月 24 日
使用機材 / 機械	スノーダンプ、スコップ / プルドーザー-D50P、バックホウ 0.7m ³ 級、バックホウ 0.4m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	降雪前に工事道路の路肩が確認出来る様、スノーポールを立て路肩の明示を行う。除雪は現場作業の支障にならない様に早朝行う。工所用道路の一部が舗装道路で急勾配の為、凍結時には凍結防止剤を散布する。



スノーポールによる路肩の明示

【現場除雪事例：H13 福島県 11】

除雪工夫分類	F:その他 / A3:除雪範囲の明示 / D1:構造物への配慮 / C1:作業員の安全
工事種別	砂防工事
工事名称	地方特定道路工事
施工場所	福島県田村郡三春町字大町地内
工期	平成 13 年 12 月 27 日 ~ 平成 14 年 3 月 20 日
使用機材 / 機械	雪かきスコップ / 0.25m ³ バックホウ 日立
現場除雪の工夫・留意点等	除雪作業班の編成。ミーティング（作業方法、手順、安全確認）。現場確認（雪に埋もれて見えない道路附属施設等の確認）。除雪構造物近接及び狭隘箇所は人力とし、その他は0.25m ³ バックホウを使用。供用させながらの工事であるため、交通整理員及び監視員を配備する。